

# 無収縮グラウト材

評価の内容（申請資料に基づき、次の事項を確認している。）

## 1. 評価対象建築材料

評価の対象とした無収縮グラウト材は、改修工事標準仕様書 8 章 2 節に規定する無収縮グラウト材とし、主として耐震補強工事及び逆打ち工事に使用されるものを対象とする。

## 2. 品質・性能等

### (1) 材質等

規定された主要資材の材質および資材メーカーから製造所への納入ルートを確認している。

項目	材質等
種類	プレミックス形又は現場調合形とする。
セメント	JIS R 5210 (2019)「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂 [表示項目]	製造所の仕様を確認する。
混和材	セメント系膨張材（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等）とする。
配合比 [表示項目] (質量比)	(セメント+混和材)：(砂) [製造所の仕様を確認する。]

### (2) 性能

性能は、以下の内容を、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

項目	品質・性能
コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 8±2 秒
ブリージング率	練混ぜ2時間後のブリージング率 2.0 %以下
凝結時間	凝結開始時間 1 時間以上 終結時間 10 時間以内
膨張収縮（無収縮性）	材齢 7 日 収縮しないこと。
圧縮強度	材齢 3 日 20.0 N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28 日 40.0 N/mm <sup>2</sup> 以上
付着強度	材齢 28 日 2.5 N/mm <sup>2</sup> 以上
塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下

※現場調合形について上記の各性能は、標準使用量および標準配合における数値とする。

## 3. 試験方法

- (1) 東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社及び西日本高速道路株式会社の規格、NEXCO 試験方法 312 -1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。
- (2) プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験は、プレミックス形のみとする。
- (3) 塩化物量試験は、JIS A 1144 (2010)「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

## 4. 用語

無収縮グラウト材の評価に用いる用語は、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社および西日本高速道路株式会社による規格、NEXCO 試験方法 312-1999 による。